

危機管理マニュアル 3 「渡航者が行うべき危機管理」

危機管理チェックリスト

◆渡航までにすべきこと

1. 参加者情報フォームを記入しましたか？	☐
2. 渡航先の在外公館（大使館や領事館）の連絡先や住所を確認し、「別表1 海外渡航時等の危機管理体制」に記入しましたか？	☐
3. 緊急連絡カードを印刷して携行できるように準備しましたか？	☐
4. 渡航先で医療や危機管理サポートを受けるための連絡方法等について調べましたか？	☐
5. たびレジに登録をしましたか？	☐
6. 【健康に関して】既往症等がある場合、医師の診断書を取り付けましたか？	☐
7. 【健康に関して】海外渡航に持参するために、既往症やアレルギーの薬等を入手しましたか？	☐
8. 【健康に関して】渡航先の感染症情報を調べ、必要な予防接種を受けましたか？	☐
9. 【健康に関して】大学が指定する海外保険（付帯海学）及び危機管理サポート会社のサービスに加入しましたか？	☐
10. 【情報共有①】留守宅家族と担任または指導教員に渡航日程表や、滞在先の情報を渡しましたか？	☐
11. 【情報共有②】留守宅家族と担任または指導教員に「別表1 海外渡航時等の危機管理体制」のコピーを渡しましたか？	☐
12. 【情報共有③】留守宅家族と担任または指導教員にたびレジに登録するよう、依頼しましたか？	☐
13. 【情報共有④】留守宅家族に海外旅行保険被保険者証のコピー、および保険会社からの留守宅家族用の資料を渡しましたか？	☐
14. 【情報共有⑤】現地からどのような連絡手段で、どの程度の頻度で連絡をするか、留守宅家族と話し合いましたか？	☐
15. 【情報共有⑥】担任または指導教員に海外渡航届（様式1）のコピーを渡しましたか？	☐
16. 海外渡航届をグローバルネットワーク推進センターの留学アドバイザーに提出しましたか？	☐
17. 安否確認アプリ『プロ・ファインダー』のダウンロード及び設定を完了しましたか？	☐
18. 出国直前に、「海外安全情報」のページ等で、現地の最新の情勢等を確認しましたか？	☐

渡航中にすべきこと

1. 現地から留守宅（家族）への連絡手段を確立し、連絡できることを確認しましたか？	☐
2. 現地での連絡手段を確保し、連絡先を到着報告フォームに記入しましたか？	☐
3. 渡航先の在外公館の位置や、そこまでの移動手段を確認しましたか？	☐

【羽ばたけ研修派遣者用】

4. 緊急連絡カードは、パスポートのコピーとともに常に携帯していますか？	☐
5. たびレジから、メールが届いていますか？（安全情報、感染症情報等の通知）	☐
6. 研修機関や現地の方から、安全情報を収集するように心がけていますか？	☐
7. 現地で受診できる医療機関の位置や、そこまでの移動手段を確認しましたか？	☐
8. 現地での移動の際に、常にリスクを下げる行動に心がけていますか？（自動車やバイクを運転しない、危険な乗り物に乗らない、危険な場所や時間帯を避ける、目立つ服装や言動をしない、テロの標的となりそうな場所を避ける等）	☐
9. 現地では、狙われやすい行動を取らないよう、気をつけていますか？（スマホを手に持って歩かない、人の行き交う建物の外でスマホを操作しない、鞆を道路側に持って歩かない、ガイドブック等を見ながら歩かない、荷物を置いたまま席を離れたりしない等）	☐
10. 強盗等にあった場合は、「とにかく無抵抗で金品は差し出し、自分の命を守る」という大原則を覚えていますか？	☐
11. 留守宅家族に定期的に連絡していますか？	☐
12. TUT グローバル（tutglobal）のインスタ用記事も送っていただけると非常にありがたいです。	☐